



「黄色いワッペン」での交通安全活動



ふれあいコンサート



地域安全マップづくり教室



「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動のポスター © Mercis bv



海の環境工作教室

特集② 子どもの健全育成に貢献する活動

地域に根ざした明治安田生命らしい活動を

活動の趣旨

お客さまの「家族への思い」を支えることが生命保険会社ならではの社会貢献

明治安田生命では、子どもの健全育成への貢献を社会貢献活動の重点分野と位置付けて、さまざまな活動を続けています。なぜなら、お客さまが私たちと保険契約を結ぶ背景にはご家族への思いがあり、こうしたお客さまの「家族愛」を理解して大切な子どもたちを守る手助けをすることこそ、生命保険会社にふさわしい社会貢献活動だと考えるからです。

また、全国各地で地域に密着した営業活動を続けているという事業特性から見ても、当社がなすべき、当社だからこそできる取り組みだと考えています。

少子化が進む社会情勢のなかで、子どもたちの生命と安全を守り、健やかに育てるための取り組みの意義はますます高まっていると言えるでしょう。当社は今後も、社会の大切な財産である子どもたちのために、従業員一人ひとりが、自分に何ができるかを考え、積極的に行動していきます。

子どもの健全育成に貢献する活動

子どもたちに音楽の楽しさを知ってもらうために、チャリティーコンサートにあわせて音楽授業を開催

音楽に親しむ機会を提供することで、子どもたちの情操教育に役立ちたい——こうした思いから、当社は2009年から、小・中学生を対象とした音楽授業を新たに開始しました。

この音楽授業は、2001年度から全国各地で開催している「愛と平和のチャリティーコンサート」と連動した取組みで、コンサートの音楽監督である三枝成彰氏が、開催地の近郊に位置する小・中学校で



チャリティーコンサートの様子

実施するものです。「クラシックって何?」「作曲家ってどんな仕事?」など、音楽に対する子どもたちの疑問に答えるとともに、合唱や合奏の指導などを通じて、音楽の楽しみ、喜びを伝える内容となっています。

2009年度は、チャリティーコンサートの地域・開催数を拡大し、三枝氏プロデュースのもと、東京フィルハーモニー交響楽団と4人のソリストによる東京公演を開催するとともに、新潟・福島・広島・熊本

公演にて、ソリストによるコンサートと音楽授業を実施する予定です。

なお、チャリティーコンサートで集まった募金は、公益社団法人日本フィランソロピー協会を通じて、子どもの健全育成に向けて活動しているNPO法人などへ寄付していきます。

音楽監督から

「音楽とは何か?」を伝えることで文化に関心を持つ子どもたちの育成をめざします

コンサート開催地域の学校において「音楽とは何か?」を伝える音楽授業を行っております。文化へ関心を持つ子どもたちが育つための裾野を広げることがきっかけに、少しでも明治安田生命の社会貢献活動に寄与できれば幸いです。



作曲家
三枝 成彰 氏



音楽授業の様子



子どもの健全育成に貢献する活動

II

ネームタグ
Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv,
1953-2009 www.miffy.com

「黄色いワッペン」

防犯笛

日々の営業活動のなかで、子どもたちの安全を守り地域の防犯に貢献するために

近年、子どもたちが登下校中に事故や事件に巻き込まれるという事態が、全国各地で多発しています。これを防ぐために、当社は、自分たちにできることがないだろうかと考え、2006年から明治安田生命労働組合と連携して「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動に取り組んでいます。

この活動は、登下校の時間帯に地域で営業活動をしているMYライフプランアドバイザーたちが、事故や事件から子どもたちを守るために少しでもお役に立ちたいという思いから始まりました。営業活動時に、防犯笛や、警察など緊急連絡先を掲載し

たネームタグを携行することで、防犯意識の醸成や犯罪行為へのけん制に役立っています。また、携帯電話に最寄りの警察署や地域行政機関の電話番号を登録するなど、危険を察知した場合にはただちに通報できるようにしています。

このほか、全国各地の営業所では地域の警察署と連携して、万が一の場合に子どもたちが助けを求められることができる「こども110番」を設置しています。

今後も、安全・安心な街づくりに貢献していくために、こうした従業員参加型の活動を継続するとともに、より良い活動となるよう改善を続けていきます。

登下校時の交通安全のために「黄色いワッペン」を贈呈しています

当社は新入学児童を対象とした「黄色いワッペン」の贈呈事業を、1965年から全国で実施しています。このワッペンには、毎年の交通安全スローガン子ども部門の最優秀作が掲載され、子どもたちの交通安全意識を育むとともに、保護者やドライバーの方々の注意を喚起することで、登下校時の交通安全に役立っています。2009年春には、全国約120万人の新入学児童に「黄色いワッペン」を贈るとともに、各地で「交通安全教室」を実施しました。

注)この事業は、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社損害保険ジャパン、第一生命保険相互会社と共同で実施しています。



子どもの健全育成に貢献する活動

III

子どもたちの自ら危険を回避する力を育むために、「地域安全マップづくり教室」を全国で開催

子どもたちを犯罪から守るためには、地域の大人たちが一体となって安全・安心な環境をつくることが重要です。その一方で、子どもたち自身に安全についての意識を高め、危険な場所には近づかない、といった「自ら危険を回避する能力」を身につけることも大切です。

こうした考えから、当社は子どもの危機回避能力を高めるための「地域安全マップづくり教室」を2008年から開催しています。この活動は、立正大学の小宮信夫教授が考案したもので、教授の教え子を中心としたNPO法人地域安全マップ協会が全国各地で教育機関や警察と連携しながら普及を進めています。



地域安全マップづくり教室の様子

当社主催の教室では、参加する親子を公募し、小宮教授を講師に招いて講義やフィールドワーク、マップづくりを通して「危険な場所」を避けるための考え方を学んでもらっています。

2008年にスタートして以来、活動は全国に広がっており、2008年度には八王子・江東・名古屋中央・徳島・熊本、2009年度には和歌山・越谷・道央(千歳)・静岡・山口の計10支社にて開催し、合計308人の子どもたちが参加しました(2009年10月現在)。地域の安全について、親子が一緒に考え、学ぶ機会として、今後も引き続き全国各地で開催していきます。

講師の方から

すべての親子に正しい防犯の知識と技能を
子どもの防犯力を高めると公認されている地域安全マップ。しかし、その普及率は2割程度にすぎず、作り方を間違えたマップが多数出回っています。例えば、犯罪が起きた場所を書かせても未来の犯罪を予測する力は高まりません。また、変な人がいた場所を書かせると人間不信に陥らせてしまいます。明治安田生命主催の「地域安全マップづくり教室」は、こうした現状を打開するものです。この教室のおかげで、これまで地域安全マップの本当の姿に全く触れることができなかった親子にも、正しい作り方を学ぶ機会が届くようになりました。これからも、すべての親子に正しい防犯知識・技能が届くように、この教室を全国各地で開催していただきたいと望んでいます。



立正大学 文学部
社会学科教授(社会学博士)
小宮 信夫 氏

指導員から

指導員にとっても楽しく、やりがいのある教室です
明治安田生命さんの主催する教室には、指導員として参加するだけでなく、一緒に教室を作り上げている実感があり、毎回楽しませていただいています。「また参加したい!」と言ってくれる子どもも多く、たいへん励みになります。これからも参加を楽しみにしています。



NPO法人 地域安全マップ協会
副理事長
浅野 博子 氏



地域安全マップづくり教室

コンサートなどに行く機会の少ない障がいのある子どもたちに、生の音楽を楽しんでいただくために、当社はグループサウンズ「ザ・ワイルドワンズ」のメインボーカルである鳥塚しげきさんによる「ふれあいコンサート」を、全国各地の特別支援学校などで開催しています。

このコンサートは、当社が1968年から実施してきた特別支援学校への車椅子などの寄付活動に、鳥塚さんが共感してくださってスタートしたものです。当社の従業員募金をもとに、会場設営から音響機器の調達まで、すべて当社従業員の手で運営されています。

どの会場でも、子どもたちが鳥塚さんと一緒に歌ったり、手作りの楽器を演奏したりと、全員が一体となって楽しむ姿が見られ、運営スタッフにとっても大きな喜びとなっています。



ふれあいコンサートの様子

開催地域の営業所のスタッフも運営に参加しており、子どもたちとふれ合って社会貢献活動への意識を深める機会にもなっています。

1984年の初回公演を皮切りに、2008年まで全国103校を訪問しており、2009年は北海道など6校で開催しました。今後も全国各地で活動を続けていきます。

開催地域の運営スタッフから

歌を楽しむ子どもたちの姿に感動しました

2009年10月に北海道沙流郡の門別愛光園で開催された「ふれあいコンサート」に、当支社も開催ホスト支社として参加しました。最初は緊張していた子どもたちが笑顔になり、鳥塚さんの歌に合わせて楽しそうに歌ったり踊ったりする姿は、見ていて胸に迫るものがありました。「子どもたちを喜ばせてあげたい」と思っていた私自身が、子どもたちから感動をいただいたという思いです。今回のコンサートをきっかけにして、今後も社会貢献活動に積極的に参加していきたいと思



道央支社
事務担当
佐藤 伸子

「コミュニケーション支援ボード」の寄贈

「コミュニケーション支援ボード」は、知的障がいのある方や自閉症の方などが自分の意思を相手に伝えるためのボードで、2003年に「明治安田こころの健康財団」が制作し、全国の特別支援学校等に配布しました。2008年には警察庁などのご協力を得て「警察版コミュニケーション支援ボード」を制作し、全国の警察署・交番ノトカーに配置いただき、普及を進めています。



コミュニケーション支援ボード



子どもの健全育成に貢献する活動

“未来を担う子どもたちに、大切な自然を守り、より良い環境をつくる気持ちを培ってもらうために”

豊かな自然環境を守り、次代に引き継いでいくことは、私たち大人の重要な責任です。同時に、未来を担う子どもたちに、自然の大切さや、自然を守る意義を伝えていくことも大切な役割です。

こうした認識のもと、当社は従業員とその家族がボランティアで海岸を清掃する「ビーチクリーン活動」とともに、清掃で集めた貝殻やガラス、海藻などを使ってアート作品を制作する「海の環境工作教室」



海の環境工作教室

を開催。子どもたちが自然に対する思いを育む場として、従業員とその家族に参加を呼びかけています。

この工作教室は、海岸漂着

物によるアート創作を通じて海浜美化啓発に取り組むNPO日本渚の美術協会の協力を得て、2007



シーボーンアート展

年にスタートしたものです。2009年は、7月に東京都港区のお台場「鳥の島」で、11月に千葉県富津海岸で、当社従業員ボランティアがビーチクリーン活動と工作教室を実施しました。今後も全国各地で継続的に開催していく予定です。

また、2009年12月には、工作教室で作成したアート作品などを展示する第3回シーボーンアート展「海からのクリスマス」を開催しました。

子どもたちの環境への意識を高める環境絵画コンクールに協賛しています

当社は、小中学生への環境教育支援の一環として、全国小中学校環境教育研究会が主催する「全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」に1997年から協賛しています。このコンクールは、「みんなでつくろう住みよい町」、「みんなで守ろう大切な自然」をテーマに、全国の小中学生から環境に関する作品を募集しています。

2009年は、「小学校の部」に68校から1,864作品、「中学校の部」に64校から570作品が寄せられ、当社はそれぞれ1作品に明治安田生命特別賞を贈りました。



「明治安田生命特別賞」
受賞作品(小学校の部)



「明治安田生命特別賞」
受賞作品(中学校の部)

子どもの健全育成に貢献する活動 IV

“障がいのある子どもたちのための「ふれあいコンサート」を四半世紀にわたって開催”

